こう 立志の丘から



平成29年度 学校通信

平成30年2月9日

No.35

1年生ふるさと学習「大綱講演会」

本校では、ふるさと・キャリア学習として、国 の重要無形民俗文化財に指定されている「刈和野 の大綱引き」について学習しています。

刈和野の大綱引きは、室町時代からの伝習であ るといわれています。平将門の一族である長山氏 が刈和野に土着し、長山氏の氏神が市場を守護す

る神「市神」 であり、そ の祭事とし て綱引きが 始められた のが由来と いわれてい ます。上町 (二日町) と下町(五



日町)に分かれて引き合い、その勝者がその年の 市場開設権を獲得といわれていますが、現在では 上町が勝てば米の値段が上がり、下町が勝てば豊 作と、その年を占う「お告げ」が下されます。綱 の直径は約80センチ、長さは約200メートル、重さ 約20トンです。

五百余年の伝統をもつ日本最大級の大綱は厳寒 の2月10日の夜、古式にのっとり、町を二分して 数千人により引き合われます。左右に振られる提 灯と「ジョウヤサノー」の掛け声がある種のリズ ムを奏でます。波打つ大綱、怒涛のように押し寄 せるエネルギー、そして、吐く息と熱気が会場を 真っ白に染めこの土地に生まれた者の魂を揺さぶ ります。(大仙市観光物産協会HPより)

この大綱引きについて、1年生が大綱保存会の

高橋会長や両 町代表の戸島 さん、高橋さ んから講演会 を行っていた だきました。 昔の綱との違 いや綱引きへ



になった経緯などを話していただきました。また、 建元の提灯に実際に触れたりミニ綱での綱合わせ に挑戦したりしました。

そして、1・2年生が綱よいや綱のばしなどの 体験学習を重ねます。また、生徒会執行部の呼び かけによる「大綱案内人」のボランティア活動も 当日行います。地元に誇りをもって、貴重な伝統 文化の継承に思いを寄せてくれているようです。

3年生進路希望実現へ

冬休みの1月中に私立高校の受検があり、また、 休み明けには、国立秋田工業高等専門学校の推薦 入試、1月30日には、公立高校の前期選抜試験が ありました。3年生はそれぞれの夢や希望の実現 に向かって、高校等の入試という初めての試練に 立ち向かっています。

「プレッシャーが人を育てる」コンクールやス ポーツの大会等も含め、その当日までの日頃の努 力や本番前に味合う不安や緊張感は、人を成長さ せるといわれています。今までの経験を生かし、 また、これから出合うであろう課題の克服やその 喜びを糧として成長してくれることと思っており ます。公立高校の一般選抜試験は3月6日です。

2月7日は、公立高校の前期選抜の結果発表が ありました。私立高校合格者も含め、夢や希望の 実現への第一歩です。中学校生活の残りの期間を 一般受検生徒とともに、基礎学力の尚一層の定着 ・向上に費やしてほしいと思います。

みんなで笑顔で卒業 奏輪学年!

晴天の下の綱よい

2月2日、1・2年生が予定していた「綱よい」 に参加しました。昨年は真冬の雨に打たれながら の作業でしたが、この日はまさしく雲一つない晴 天の下での作業でした。



これまでのふ るさと学習で学 んだ綱の歴史や 建元さんたちの 取組、また、地 域の方々とのふ れあいを踏まえ て、上町と下町

に分かれての作業でした。上町は西仙北中央公民 館で、下町は広小路で、それぞれのぐみ編みの方 式で行いました。元は一本のわら。それが束にな り、よられ、やがて屈強な大綱となっていく様に、 ここ西仙北の熱い魂が感じられました。

この後、綱 が会場のドッ プ付近に飾ら れ、本番を迎 えます。伝統 文化に携わっ ていることを 実感した作業 でもあったよ



うに思います。お疲れ様でした。

第2回生徒総会

2月5日、平成29年度第2回生徒総会が行われました。生徒会三役の加藤君、小笠原君、田村さんのあいさつに始まり、2年生の田村君と田村さんの議長団が、各専門委員会の活動報告や質問・要望の回答等を進めました。



執行部の「いじめNOプロジェクト」のさらなる充実や伝統となっているあいさつ運動の展開、日常生活への提言、学習や読書への取組、生活規律の確認等、自分たちの学校は自分たちが創るという気概を感じる生徒総会でした。また、階段の補修や冬季の清掃の仕方など、学校として対応を考えるべき要望等もあり、生徒たちの姿勢に学ぶべき点も多く見られた総会でした。

2年生郷土料理に挑戦

2月、2年生が家庭科の時間に郷土料理に挑戦 ということで、だまこ汁を作りました。だまこを こねたりゴボウをささがきしたり、一手間一手間

を行理まそ格のど満いで丁っししの別試の足っしいの良顔感ぱた。に調い。は味。もでい



教育活動は、いろいろな分野で「ふるさと」や 「伝統・文化」が大切にされています。なお、実 習に当たっては、西部学校給食センター主任学校 栄養士の藤澤先生にも指導していただきました。

小学6年生 一日丸ごと体験入学

2月8日、西仙北小学校の6年生が本校で一日 丸ごと体験入学をしました。小学校と中学校の円 滑な接続、いわゆる「中1ギャップ」等の解消を ねらいに、6年生に中学校生活を体験してもらい ました。

当日、6年生は体験入学の開会式後に、1年生から3年生までの各クラスの授業参観を行い、そ

の後、事前の希望による体験授業を1年生と共に 合同で行いました。漢字を学習した国語科、歴史

人道つん科のいタ数物府いだ、数て一学や県て社正にマし科都に学会負つスた、



液体の不思議に挑戦した理科、お菓子作りを行った家庭科、そしてバレーボールにチャレンジした体育科などでした。

また、生徒会執行部が、中学校生活の紹介と質問コーナーを設けるとともに、各部による部活動紹介なども行われました。

本校生徒は、いつもにもまして授業に集中する とともに、合同授業では6年生にやさしく接して いて感心しました。何よりも、閉会式の感想発表



で生が一か業体楽たはの、日の見験しの、日の見験し中の見いを対し、

に入学するのが楽しみになった。」と発表してくれました。この体験により、4月からの入学を心待ちにする6年生になってくれたようでうれしい一日でした。皆さん、お疲れ様でした。

「にしせんプロジェクト」チーフ会議

西仙北地域では、こども園や保育園、小学校、中学校、高等学校及び行政機関等の連携会議をもって、西仙北地域の子どもたちの健全な成長が図られるようにしています。特に、西仙北小学校と本校は、子どもたちの学びや生活規律の円滑な接続をねらいに、全教職員で「にしせんプロジェクト会議」を組織して、授業づくりや家庭学習の在り方、学習規律、ふるさと・キャリア教育等の連携した実践に取り組んでいます。2月8日には、

今践相来組す会まど年、互年等る議しもの組しの確一行。ちの組しの確一行。ち実を、取認フい子の



さらなる健全な成長を一貫した指導・支援で実現 したいと考えます。